

# ムラの風景 暮らしの足跡

## 霞ヶ浦周辺の古墳時代集落

3月19日(土)～5月8日(日)



3世紀後半から7世紀の終わり頃にかけて、日本各地で有力者の墓である古墳が造られました。土浦市内にも、王塚古墳、常名天神山古墳、武者塚古墳など多くの古墳が存在します。このような古墳が造られた時代を古墳時代と呼んでいます。

霞ヶ浦周辺の古墳時代集落をみると、河川や谷部、霞ヶ浦を臨む台地上に集落は多く存在しています。霞ヶ浦や河川は、水上の交通路として人々の移動や物資の流通に利用されました。また、霞ヶ浦は漁場として、谷部は水田として、集落の安定に欠かせない生業の場を提供していました。

このように霞ヶ浦周辺の古墳時代集落は、水産資源の豊富な霞ヶ浦での漁、鉄製農具の普及や開発技術の発達による農地の拡大などで、増加していったと考えられます。

展示では、市内遺跡から発掘された考古資料を中心に、古墳時代の人々の暮らしについて紹介します。

### 記念講演会

「古墳時代の風景―群馬県榛名山麓を中心に―」

とき／4月16日(土) 午後2時～3時30分

講師／若狭 徹さん(高崎市教育委員会)

定員／60人(先着順)

### 企画展講座

「発掘が語る土浦の古墳時代」

とき／4月9日(土) 午後2時～3時30分

講師／考古資料館学芸員  
定員／60人(先着順)



勾玉・ガラス小玉・管玉



古墳時代の土器

### 展示案内会

とき／3月27日(日)、5月1日(日) 午後2時から

### 土器にふれてみよう

「見てふれて古代を体感」

いろいろな時代の土器を手に持って観察してみましよう。土器クイズも実施します。

とき／4月2日(土)、23日(土)

※開館時間は、いつでも体験できます。

※いずれも、入館料が必要です。

休館日／毎週月曜日(3月21日を除く) 3月22日(火)、5月6日(金)

開館時間／午前9時～午後4時30分

入館料／一般：105円、小・中学生、高校生：50円(20人以上の団体は一般：75円、小・中学生、高校生：30円)

※毎週土曜日は小・中学生、高校生入館無料

◎4月3日(日)は土浦桜まつりの協賛で無料開館

申間上高津貝塚ふるさと歴史の広場

(☎826・7111)